

スキルアップ 第5号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和6年8月30日発行

令和5年度 卒業生 フォローアップの様子

夏休み期間中、令和5年度卒業生（今年3月に卒業）のフォローアップを実施いたしました。すっかり仕事にも慣れ、毎日元気に頑張っている姿が印象的でした。写真とともに、進路先の方やご本人のコメントをご紹介します！

病院食調理



仕事にもすぐに慣れ、今では外国からの実習生に教えるまでになっています。悩みもありますが、働き始めたことで性格が明るくなりました。運転免許取得が目標です。

リサイクル業務



学校にいるときは挨拶が苦手でしたが、働き始めてからは必ず挨拶をするようになりました。資格も取得して自信がつき、自分でも大人になったと感じています。

B型事業所



仕事を覚えるスピードが速く、とても助かっています。今年は暑かったこともあり少しバテていたようなので、体力をつけ、体調管理に気を付けてほしいです。

B型事業所



市の委託業務で外作業に出ることも多いですが、周囲の方と声を掛け合いながら安全に作業しています。けがや熱中症に気を付けながら、毎日頑張っています。

B型事業所



施設の商品であるかりんとう作りは、すべての工程を1人で行っており、正確にできています。今後は食品加工のリーダーになれるよう、成長に期待しています。

B型事業所



イカゲソの処理をしています。手際よく行うことができます。また、商品の販売方法についてアイデアを出してくれることもあり、とても助かっています。

生活介護事業所



支援を受けながら、トラブルなく、毎日安定して過ごしています。お気に入りのおもちゃを介して、周りとも積極的にコミュニケーションをとっています。

入所施設



新しい生活に慣れるまで1ヵ月ほどかかりましたが、しっかり眠りしっかり食べて、毎日元気に過ごしています（感染予防対策のため、別室にて面会しました）。

一般就労に関わる面談

一般事業所・A型事業所への就労を目指す生徒を対象として、夏季休業中にハローワーク（八戸）で面談を行いました。

一般事業所を希望する生徒は四者面談、A型事業所を希望する生徒は三者面談として、1名につき30～40分程度の面談を行いました。ここでいう四者とは①本人・保護者、②学担・進路担当、③ハローワーク専門援助部門、④障害者就業・生活支援センター（みなと・みさわ）のことを指しています。A型は支援センターを除いた三者になります。

提出書類や面談の内容

- ・求職申込書（事前に生徒が学校で記入します）、愛護手帳のコピー、現場実習個人調書
- ・就労に向けての様々な制度の説明
- ・各地区の支援センターの役割説明、仮登録
- ・実習内容や進路希望に関する本人への質問

この面談は一般就労に向けて必ず必要な手続きです。夏季休業中とはいえ、お忙しい合間を縫って参加して下さった保護者の皆様、大変お疲れ様でした。

無事に登録が完了すると、下図のような『ハローワーク受付表』が発行されます。A4用紙サイズです。ハローワークで手続きをする際に毎回必要となりますので、紛失しないように卒業後も大切に保管してください。

ハローワーク受付表	
受理年月日：令和〇年7月1日	
氏 名：ショクアン ハナコ	
職 安 花 子 様	
希望就業形態：フルタイム	求職番号：00000-1111111
担当窓口：00	
職 種：000-00	

見 本

職員職場体験・見学会

夏季休業中、3つの企業・福祉事業所の御厚意で教職員の職場体験と見学会をさせていただきました。この職場体験・見学会は開校年度から積極的に実施しているものです。雇用環境を知り職種についての理解を深め、今後の指導へとつなげることを目的としています。



参加した教職員から、「生徒の卒業後の姿をイメージしやすくなった。社会人として必要な力を身に付けられるよう、基本的なコミュニケーション、報連相の必要性を特に重視して指導していきたい。」「自らの体調不良や排せつ、のどの渇きなどの報告や相談ができなくて困っているという話から、学校で教えていきたいと思った。とても親切的な職場ばかりで生徒の実習先として勉強できる環境だった。」「長時間立って作業を行う必要があることから体力や自分の体調把握が必要であるとわかった。」「社員が資格を取ったり、お金を稼いで楽しみを増やしたりしていけるような取り組みをしていると話を聞き、向上心をもって意欲的に働けると感じた。」といった感想が出ていました。共通して出た話題は、働く上での体調把握と自己管理の力、体調不良時に自分から相談できる力の育成が在学中に必要であるということでした。